



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 104 号

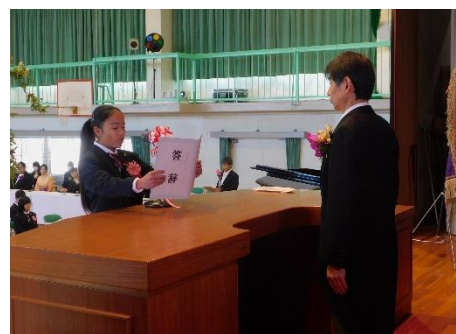
R5.3.21

文責 中西 勉



第 7 6 回 卒業証書授与式 ～『絆』から伝わってきた卒業生の思い～

昨日、最高の晴天に恵まれ「令和 4 年度 第 7 6 回卒業証書授与式」を挙りました。ただ、インフルエンザ等のため、残念ながら卒業生 1 2 名が欠席となりました。しかし、式に臨んだ子供たちは、担任の呼名に対して一人一人が精一杯の返事をし、立派に卒業証書を受け取ることができました。また、答辞では、卒業生総代の荻野七海さんが、落ち着いた口調で、充実した小学校生活の思い出と中学校に進学する決意を述べました。



▲答辞を述べる卒業生総代の荻野七海さん

式では、卒業生全員が「卒業の歌」である『絆』を合唱しました。今回は、歌を歌う場面のみマスクを着用しましたが、マスク越しでもその思いは十分に伝わってきて、一人一人の一生懸命な姿に私も思わず目が潤みました。



▲卒業の歌『絆』を一生懸命に歌う卒業生

昨日欠席した 1 2 名の卒業式は、3 月 2 8 日（火）の午前 1 0 時から行う予定です。昨年も、新型コロナによる学級閉鎖のため、春休みに欠席者のための卒業式を行いました。今回も、卒業生全員にしっかりとした卒業式の思い出を築いてあげられるように、昨日に引けを取らない立派な卒業式を、子供たちと保護者の方、職員が心をつなげて行い、感動を共有したいと思います。



W B C 村上選手の劇的な逆転サヨナラタイムリーで決勝へ！

今朝、W B C の準決勝「日本 vs メキシコ」戦が行われました。試合は、先発の佐々木朗希投手が、4 回表に 3 ランホームランを許し、リードを奪われる展開となりました。ようやく 7 回裏に、四番の吉田正尚選手の 3 ランホームランで同点に迫りましたが、直後の 8 回表に 2 点を奪われ、その裏に 1 点を返したものの、1 点ビハインドで 9 回裏を迎えました。ここで、先頭打者の大谷翔平選手が 2 ベースヒットを放って勢いに乗ると、続く吉田選手は四球を選び、無死 1 ・ 2 塁となりました。この大チャンスにバッターボックスに入ったのは、今日も 3 三振を喫するなど不振にあえいでいた村上宗隆選手でした。送りバントで一死 2 ・ 3 塁にする事も考えられましたが、栗山監督は最後まで村上選手を信頼し、その一打に勝負の運命を託しました。村上選手は見事にその期待に応えて逆転サヨナラタイムリーを放ち、劇的な勝利で決勝進出を決めました。明日のアメリカとの決勝戦も目が離せません。侍ジャパンの選手たちが明日も躍動し、世界一に輝くことを信じています。



▲逆転サヨナラタイムリーを放つ村上宗隆選手